



救急車の適正利用をお願いします！

年間の救急出動件数が3年連続で過去最多を更新しています。

令和6年中の東京消防庁救急隊の出動件数は**935,373件**で、過去最多件数となりました。

救急出動件数は、例年、夏季（7月、8月）及び冬季（1月、12月）に多い傾向にありますが、令和6年はこの時期の出動が明らかに増加しました。救急出動件数の増加は、高齢化が進み高齢者の搬送が増えていることや、猛暑による熱中症の搬送が増えたことなどが要因とされています。

● 救急車ひっ迫アラートとは？

救急要請の増加により、救急隊を通常体制よりも増やして対応している場合など、アラートの発令により救急出動体制のひっ迫度合いをお伝えするとともに、救急車の適時・適切な利用を訴えかけることを目的とする取り組みです。

東京消防庁ホームページや公式Xなどで発表しています。

● 救急出動がひっ迫するとどうなる？

救急車の要請が増加することで、現場付近の救急隊がすべて出動していた場合に、遠く離れた場所から救急隊が現場に駆け付けことがあります。救急隊が出動してから現場に到着するまでの平均所要時間は8分59秒（令和6年）ですが、それ以上に時間を要する場合があります。

本当に救急車が必要な人のために、適時・適切な救急車の利用をお願いします。



救急車を呼ぶか判断に迷う場合には、インターネットから『東京版救急受診ガイド』もしくは、電話から『#7119東京消防庁救急相談センター』を活用してください。

緊急性がある場合には、ためらわずに救急車を利用してください。

ワンポイントメモ

119番通報は、着信順に指令管制員が対応しています。救急車ひっ迫アラート発令中は特に電話がつながりにくくなる可能性があり、途中で電話を切ってしまうと順番が最後になってしまいます。電話は切らずに、つながるまでそのままお待ちください。

ネットでガイド
東京版 救急受診ガイド
救急受診ガイド 検索
インターネットで、病状やけがの緊急度、受診する時期、受診する科目などを確認できます。
質問に答えるだけの簡単スピーディ！

電話で相談
東京消防庁救急相談センター
#7119
こちらからもつながります
23区 03-3212-2323 多摩地区 042-521-2323
24時間受付・年中無休

熱中症

対策をしましょう！

「熱中症警戒アラート」発表時は、外出をなるべく控え、暑さを避けましょう

熱中症警戒アラートは、危険な暑さが予想される場合に、熱中症への警戒を呼びかけるものです。ニュースや天気予報、環境省サイトなどで確認できるほか、環境省からのメール通知、環境省公式LINEアカウントから通知を受け取ることができます。

予防策① 水分補給！

- ・早めに
- ・こまめに
- ・入浴前、入浴後に
- ・塩分補給も忘れずに

予防策② 涼しくする！

- ・エアコンを使う・カーテンで遮光する
- ・高温、多湿、直射日光を避ける

熱中症の主な症状

- ・めまい、立ちくらみ
- ・顔のほてり
- ・筋肉痛、体のけいれん
- ・異常な発汗・体温が高い
- ・頭痛、吐き気、体のだるさ など

こんなときは119番

- ・意識がない
- ・言動がおかしい
- ・うまく動けない、麻痺がある

公式HP

